

## 北海道大学が中高生を対象にした「短編小説コンテスト」を開催

～今を生きる若者の価値観探求と、創作体験を通じた新しい学びの提供～



### 【概要】

北海道大学 COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」(以下、北海道大学 COI-NEXT)では、若者の価値観探求と創作体験を通じた新しい学びの提供を目的に、米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア\*1」の協力のもと、全国の中高生を対象にした「短編小説コンテスト」を開催します。

これに伴い、今回、2023年8月1日(火)より、「インクルーシブ」「ダイバーシティ」「ジェンダー」をテーマにした短編小説の公募を開始します。

### 【経緯と狙い】

北海道大学 COI-NEXT では、「若者が、自分の選択肢を増やすことができ、他者(ひと)とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現を目指し、若い世代が自分ごととして妊娠・出産など人生の選択ができるよう健康や性に関する知識やリテラシーの向上に取り組んでいます。加えて、若者自身が自分らしい人生に向けてライフプランの選択肢を拡げることも重要です。そのためには若い世代が今どのような価値観を持ち、将来に向けて何が必要か供に考えていくことが必要と考えます。

そこで北海道大学 COI-NEXT では、中高生自身が性や多様性など自身を取り巻く様々な物事について日々感じていることや考えていることを小説や絵画、動画などの創作体験を通じて作品にすることで、それらへの理解を深め、自分で考えて表現する力や自分のスキル・好奇心を発見する力を養い、また若い世代の抱える課題や価値観を探求する取り組みの一環として本コンテストを実施します。

## 【コンテスト内容】

今回のコンテストでは「インクルーシブ」「ダイバーシティ」「ジェンダー」をテーマに短編小説を公募します。多様性が拡がりを見せ、「個」を大事にする時代が訪れる中、それぞれが抱える想いや物語があります。誰もが関係するテーマだからこそ、そこにある想いをどう表現するのか。自分だけのイメージ、言葉を短編小説という一つのカタチに残して欲しいと考えています。なお本コンテストにて受賞された作品は、ショートフィルム映像化するなど、今後の取り組みも検討しています。

## 【応募要項】

募集テーマ	「インクルーシブ」「ダイバーシティ」「ジェンダー」をテーマにした短編小説
文字数	100～5,000 文字以内
応募期間	2023 年 8 月 1 日（火） ～ 2023 年 10 月 31 日（火）
応募資格	中学生、高校生・高等専門学校生
参加費	無料
受賞	最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞 ※受賞作品に選ばれた作品は WEB サイト、ショートショート フィルムフェスティバル & アジアのサイト上に掲載します。
選考結果	2024 年 2 月に WEB サイトにて発表
応募方法	申込フォームより応募
WEB サイト	<a href="https://shortstorycontest.studio.site/">https://shortstorycontest.studio.site/</a>

応募申込フォーム QR コード



WEB サイト QR コード



◎主催：北海道大学 COI-NEXT 「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」

◎協力：ショートショート フィルムフェスティバル & アジア

株式会社クリエイティブオフィスキュー

AIR-G' (FM HOKKAIDO)

## ■北海道大学 COI-NEXT について

北海道大学は国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「共創の場形成支援プログラム」(COI-NEXT) に採択され、企業・研究機関・自治体とともに北海道大学COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」をつくりました。「若者が、自分の選択肢を増やすことができ、他者(ひと)とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現をめざします。

## お問い合わせ先

北海道大学産学・地域協働推進機構社会・地域創発本部

T E L 011-706-9602 メール coi-event@fmi.hokudai.ac.jp

U R L <https://coi-next.fmi.hokudai.ac.jp/>

## 配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

## 【用語解説】

\*1 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア … 米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優の別所哲也氏が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから 1999 年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバルを創立。2001 年には名称を「ショートショートフィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004 年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とした「ショートショートフィルムフェスティバルアジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF&ASIA」を総称として映画祭を開催している。国際短編映画祭としては、アジア最大級の規模を誇り、毎年 10,000 を超える作品が世界中から集まる。また国際短編映画祭に繋がる取り組みとして、短編小説を公募・創作し、ショートフィルム化する「ブックショート」を実施。2014 年以降毎年開催している「ブックショートアワード」をはじめ、様々な企業・自治体とコラボレーションし多彩なテーマで「公募」を実施している。

(公式ウェブサイト)<https://www.shortshorts.org>